

「イノベーション・commons（共創拠点）」の推進に向けた先導的取組事例に関するアンケート調査票 文部科学省

＜調査の目的＞

「第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）」では、国立大学法人等（国立大学法人、大学共同利用機関法人及び国立高等専門学校を指す。以下同じ。）の施設について、「キャンパス全体が有機的に連携し、あらゆる分野、あらゆる場面で、あらゆるプレーヤーが共創できる拠点「イノベーション・commons」の実現を目指す。」とされています。また、同計画を踏まえ策定された「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画（令和3年3月31日文部科学大臣決定）」においては、国立大学法人等は、知と人材の集積拠点として、社会の様々なステークホルダーとの連携により創造活動を展開する「共創」の拠点となることが期待されており、その役割を果たすためには、今後の施設整備の方向性として、キャンパス全体を「イノベーション・commons」へと転換する必要があることが示されています。

本アンケート調査は、こうした状況を踏まえて、「イノベーション・commons」の推進に資する先導的な取組を実施していると思われる大学等に対して、その計画や、キャンパス・施設整備の工夫、運用面の工夫、キャンパス・施設を活用した取組、多様な主体との連携体制等について調査を行い、「イノベーション・commons」を形成するための留意点や課題、効果等を分析するとともに、今後の各大学等における推進方策や、国による支援方策等を検討するための資料として活用するものです。

※本調査は、文部科学省が設置する「国立大学法人等の施設整備の推進に関する調査研究協力者会議」の活動の一環として実施しています。本調査においてご回答いただいた内容は、同調査研究協力者会議の検討の参考資料となるとともに、編集の上、報告書の一部として公表される可能性があります。

＜調査票御記入に当たって＞

1. 本調査票は、大学キャンパス・施設の整備や維持管理に関するご担当者様、当該キャンパス・施設を活用した共創活動に関するご担当者様に記入していただくことを想定しております。
2. 本調査では、貴学における全ての共創活動に関連する施設や当該活動について回答いただく必要はありません。上記の調査目的及び下記に示す調査対象に関して、貴学において合致と思われるキャンパス・施設や当該キャンパス・施設を活用した共創活動について、ご回答願います（3事業まで回答可能）。なお、ご回答いただいたキャンパス・施設や共創活動については、後日ヒアリングさせていただくことがありますので、ご協力よろしくお願いたします。

【調査対象】

全学的なビジョンや計画のもと、地方自治体や産業界等の多様なステークホルダーとの共創活動のためのキャンパス又は施設の整備（新設・改修・改築）を行うか、或いは維持管理や運用面での工夫を行い、当該キャンパス又は施設を活用した共創活動を実施している、ソフト・ハードを一体とした取組における、当該キャンパス・施設及び当該共創活動

注1：対象については、個別の施設等（教育研究施設、産学連携施設、図書館、学生寮、屋外スペース等）ごとに回答するか、又は一連の施設整備事業についてキャンパス全体を視野に入れた一つのキャンパスの取組として回答することのいずれでも可能。ただし、当該キャンパス・施設を活用して多様なステークホルダーとの共創活動が行われているものに限る。

注2：「多様なステークホルダー」については、企業や地方自治体といったや非アカデミアのステークホルダーに限るものではなく、学内の異分野の研究者・他部局や、他の大学・研究機関等も含む。

3. 回答方法は、選択肢に応じて□欄に「○」を記入していただくものと、具体的な内容を記述していただくものがあります。
4. 選択肢「その他」を選択した場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
5. ご回答いただいたアンケートの内容については、そのまま公表されることはありませんが、文部科学省が設置する有識者会議の報告書として、編集の上で一部公表される可能性があります。その際は、公表する内容を貴学にご確認いただき、ご了承を得たうえで公表いたします。ご希望に応じて、大学名や一部内容を非公表としたり、公表を差し控えることも可能です。
6. 本調査について不明な点等がございましたら、次ページ担当者までお問合せください。

締切は、令和4年1月17日(月)とさせていただきます。

<調査票の提出について>

- ご回答いただいた調査票は、メールにより、電子媒体を令和4年1月17日(月)までに返信してください。
- ご不明点・ご質問等についても下記アドレスまたは担当までご連絡ください。

電子媒体提出先・問い合わせ先のアドレス：

keiseibi@mext.go.jp

【担当】

文部科学省 文教施設企画・防災部
計画課課整備計画室 企画調査係 (担当：久保、岩崎)
住所 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
電話 03-5253-4111 (内線3247) / 03-6734-3247 (直通)
FAX 03-6734-3693

■ 基本的事項

貴学の名称と、前掲の「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」を実現するためのキャンパス・施設整備、及び当該キャンパス・施設を活用した活動についてお聞きます。

【問1】 貴学の名称と、前掲の「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」を実現するためのキャンパス・施設整備、及び当該キャンパス・施設を活用した活動があれば、その事業内容（施設名・活動内容等）を、①～③に記入してください。

また、回答されるご担当者の所属・氏名・連絡先を、以下の口欄にご記入ください。

大学名称	
------	--

【事業内容(施設名・活動内容等)】

キャンパス・施設①	
上記キャンパス・施設 を活用した共創活動①	
キャンパス・施設②	
上記キャンパス・施設 を活用した共創活動②	
キャンパス・施設③	
上記キャンパス・施設 を活用した共創活動③	

回答者の 所属部署名				担当施設・活動	
回答者氏名		役職		施設	
電話番号		e-mail		共創活動	

回答者の 所属部署名				担当施設・活動	
回答者氏名		役職		施設	
電話番号		e-mail		共創活動	

回答者の 所属部署名				担当施設・活動	
回答者氏名		役職		施設	
電話番号		e-mail		共創活動	

【問2】上記で回答のあった事業について、それぞれの問に対して、基本情報として下記の事項に回答してください。以下から該当する項目を選び、項目の□欄に「○」を記入ください。また、その他を選んだ場合は、()内に具体的内容をご記入ください。

問2-1 問1で記入したキャンパス・施設は、新築ですか、改修ですか、あるいは既存建物を運用の工夫で活用していますか。それぞれ該当する項目の□欄に「○」を御記入ください。

キャンパス・施設① : 新築 改修 既存
 キャンパス・施設② : 新築 改修 既存
 キャンパス・施設③ : 新築 改修 既存

*当該キャンパス・施設の整備に関して該当するものに「○」を記入
 キャンパス整備の場合、新設・移転は「新築」、既存キャンパスの一部の整備・拡充・縮小は「改修」、施設整備を伴っていない場合は「既存」に「○」を記入。

問2-2 問1で記入したキャンパス・施設について、整備時期、整備面積（複数のスペースが内包され、その一部のみ共創活動に供する場合、そのスペースの面積）、階数（施設単体の場合）、整備主体、主な財源、大学の利用形態について、御記入ください。

施設	整備時期 (西暦)年	総面積((㎡)	左記の内、共創活動に供するスペースの面積(㎡)	階数	整備主体 (大学、自治体等)	主な財源	大学の利用形態 (所有、有料借用、無料借用)
記入例	2005	5,000	1,500	2	大学	施設整備費	有料借用
キャンパス・施設①							
キャンパス・施設②							
キャンパス・施設③							

○国の補助金等を活用している場合は、下記□欄に、補助金の名称・所管省庁（自治体の場合は自治体名）・整備面積を記入してください。

	補助金の名称	所管省庁	整備面積(㎡)
キャンパス・施設①			
キャンパス・施設②			
キャンパス・施設③			

問2-3 当該キャンパス・施設について、その特徴を記入してください。

	特性
記入例	人数や、研究分野の特性等に応じた柔軟な施設利用が可能かつ最先端機器設備を備えたオープンラボ施設
キャンパス・施設①	
キャンパス・施設②	
キャンパス・施設③	

問2-4 問1で記入したキャンパス・施設①～③を活用した共創活動について、取組内容として該当する項目に、最も該当する項目に○を記入してください。(複数回答可)

記入例 : 1. 他部局	キャンパス・施設①	キャンパス・施設②	キャンパス・施設③
1. イノベーション創出①(社会課題の解決に向けた研究開発・先進技術の社会実装、基礎研究・学術研究や振興・融合領域研究の推進など)			
2. イノベーション創出②(スタートアップの創出支援、アントレプレナーシップ教育の推進など)			
3. 教育・人材育成①(大学・学部・研究科の枠を超えた教育課程の展開や、地域・産業界等と連携したPBL等による実践的な人材育成プログラムの実施など)			
4. 教育・人材育成②(地域・産業界等のニーズに対応したリカレント教育の推進など)			
5. 地域貢献①(地域産業の振興や地域コミュニティ活性化に資する教育研究・社会貢献活動)			
6. 地域貢献②(大学のキャンパス・施設の一部の地方自治体等との共同利用や、地方自治体等の施設との一体的な整備、地域住民への開放、指定管理者制度の活用など)			
7. その他(上記以外の活動)			

問2-5 問1で記入したキャンパス・施設①～③を活用した共創活動について、文部科学省や他府省庁等の補助金を活用していますか。補助金有りの場合は、補助金の名称・所管省庁(自治体の場合は自治体名)を記入してください。

	補助金の有無	補助金の名称	所管省庁
キャンパス・施設①			
キャンパス・施設②			
キャンパス・施設③			

問2-6 問1で記入したキャンパス・施設①～③を活用した共創活動の概要を、記入してください。(簡潔に自由記述)

【キャンパス・施設①を活用した共創活動の概要】

(記入例)

- ・本共同研究施設において、複数の部局と、入居する複数企業との連携による最先端の材料化学と異分野の融合研究開発を実施。
- ・本情報センターは○市の図書館として共用されており、センター内のアクティブラーニングスペースとカフェスペースを利用して、地域住民を対象とした、学生・教職員によるサイエンスカフェを開催。
- ・民間企業▲と□市と連携し、○○キャンパス内の道路と一部公道を活用して、自動運転バス走行の実証実験を実施。

【キャンパス・施設②を活用した共創活動の概要】

【キャンパス・施設③を活用した共創活動の概要】

問2-7 問1で記入したキャンパス・施設①～③を活用した共創活動の成果を、記入してください。(簡潔に自由記述)

【キャンパス・施設①を活用した共創活動の成果】

(記入例)

- ・本共同研究施設における産学共同研究により、新材料に関する特許取得〇件、製品化〇件を実現。
- ・本情報センターでのサイエンスカフェを令和元年度から延べ〇回開催・住民〇人が参加。理学部の教職員を中心に始まった本活動が、全学的な取組となり、現在は教育委員会と連携した域内の小中学校への出前授業や教員向け講座も定期的を実施。
- ・令和〇年〇月からの〇か月間に走行した自動運転の検証結果を踏まえ、来年度は走行区間を拡大予定。協力企業も増加し、事業化に向けた取組を加速。

【キャンパス・施設②を活用した共創活動の成果】

【キャンパス・施設③を活用した共創活動の成果】

■ 事業内容について

問1で回答いただいた事業内容について、お聞きします。
以降は、上記【問1】【問2】で回答した事業から最も特徴的な取組と思われるものについて回答してください。

以降の問で回答するキャンパス・施設の取組の番号を記載してください。

キャンパス・施設	
----------	--

【計画策定】「イノベーション・コモンズ」の実現に向けたキャンパス・施設整備の計画等についてお聞きします。

【問3】 本事業は、貴学のビジョンやアカデミック・プラン等の各種計画等とどのように関係しますか。
該当する選択肢に「○」を記入してください。「その他」を選択した場合には、()内にその内容を記載してください。また、明確に位置づけられている計画等があれば、その名称を()内に記載してください。

記入例 : 1.各種計画等に位置づけられている。	○
1. 各種計画等に位置づけられている	
2. 直接的な関係はないが、各種計画等の取組を踏まえて、本事業のキャンパス・施設を計画	
3. 特に関係はない	
4. その他 ()	

【問4】 貴学において、キャンパスマスタープラン等の全学的なキャンパス・施設整備の計画を策定していますか。該当する選択肢に「○」と記入してください。
また、策定している場合、本事業とはどのように関係しますか。「その他」を選択する場合、その内容を()内に記載してください。(2問目について、複数の選択肢に該当する場合は、複数回答可)

記入例 : 1.策定している	○
1. 策定している	
2. 策定していない	

記入例 : 1.キャンパスマスタープランに基づく取組である	○
1. キャンパスマスタープランに基づく取組である	
2. 本事業に関連してキャンパスマスタープランを見直した	
3. 特に関係はない	
4. その他 ()	

【問5】 本事業に関連して、地方自治体が策定する総合政策や都市計画と本事業や大学の各種計画等は連携していますか。

記入例 : 1.連携している	○
1.連携している	
2.連携していない	

【問6】 全学的なキャンパス・施設整備の計画について、どのような体制で、どのような部局を中心に検討・策定を行いましたか。また、どの程度の期間を要しましたか。

[体制、中心的な部局、検討に要した期間]

【キャンパス・施設整備】本事業におけるキャンパス・施設の整備についてお聞きします。

【問7】 施設計画はどのような体制で検討しましたか。また、どの程度の期間を要しましたか。

[体制、検討に要した期間]

【問8】 施設計画上の工夫はありますか。該当する選択肢に「○」を記入してください。「その他」を選択した場合には、()内にその内容を記載してください。(複数の選択肢に該当する場合は、複数回答可)

記入例 : 1.交流を誘発する仕組み	○
1.交流を誘発する仕組み	
2.活動の可視化	
3.フレキシビリティの確保	
4. 屋外スペースの整備	
5.その他 ()	

【問9】 教育研究機能の強化や社会情勢の変化を踏まえた施設整備があれば記載してください。(簡潔に自由記述)

(記載例)

- ・リカレント教育推進のためのコワーキングスペースの整備
- ・図書館兼カフェ兼アクティブラーニングスペース等の「シェア使い」「重ね使い」による学生の居場所確保のための魅力的な空間整備
- ・遠隔での教育研究活動に配慮した空間整備(部屋のどこからでも声が届く設備や、部屋のどこからでも見られるディスプレイ、各席での電源確保等)
- ・研究設備・機器の遠隔利用や自動化を可能とするオンライン化された実験・実習環境の整備
- ・災害時等でも通信環境が確保されるよう設置場所の工夫等を行ったサーバや電源の整備

【施設運用】本事業によるキャンパス・施設の運用に関してお聞きします。

【問10】 キャンパス・施設の間を活用して共創活動を行うに当たり運用上の工夫があれば記載してください。また、当該工夫について、主導する部局や体制（人員配置等）を記載してください。

（簡潔に自由記述）

※例えば、当該キャンパス・施設で共創を誘発する仕掛け、地域住民等を巻き込む仕掛け等を想定していますが、それらに限定するものではありません。

（記載例）

・当該施設において、入居する教員・学生による地域住民を対象としたワークショップを定期的に開催し、地域住民との交流が生じる場を提供。

・当該施設を利用する学内の研究者と企業研究者の間でインフォーマルな知的交流が生じるよう、定期的な交流会を実施。

・当該施設で実施している講座は、地域活性化をテーマとした近隣の大学間で単位互換が可能な共同講座であり、講師を地域住民に依頼したり地域住民も受講可能とすることで、大学間の交流や、学生・教職員と地域住民との交流が生じている。

（主導する部局：社会連携本部地域連携室。体制：室の常勤職員2名が担当。ほか、連携5大学と3自治体で各1名の職員が担当。）

【問11】 当該キャンパス・施設の運用に関連して、「イノベーション・コモンズ」の実現や、共創活動を展開・発展させていく上で、現在課題があれば記載してください。また、過去に生じた課題について、効果的に対応できた事例があれば記載してください。（簡潔に自由記述）

【キャンパス・施設の有効活用】本事業によるキャンパス・施設の活用方法についてお聞きします。

【問12】 多様な主体との共創活動を行うにあたり、本事業で整備されたキャンパス・施設をどのように活用していますか。（簡潔に自由記述）

（記載例）

キャンパス全体を実証実験場として、民間企業と連携して開発した新技術の実装に活用／複数の大学・企業と連携した社会人向けの専門教育プログラムの場として活用／民間企業をはじめとした多様な主体との共同研究開発のための拠点として活用／キャンパス・施設の地域開放や地方自治体等との施設の相互利用を進めている／地域防災のための取組に活用／民間事業との連携による不動産の高度利用 など

【問13】 当該キャンパス・施設を活用した共創活動について、どのような体制で、どの部局を中心に活動を計画し、運営していますか。

【自治体・企業等の多様な主体との連携体制】

本事業によるキャンパス・施設に関連した、地方自治体や民間企業等の多様な主体との連携について、お聞きします。

【問14】 本事業によるキャンパス・施設の整備・運用・活用において、どのようなステークホルダーと連携・協力しましたか。該当する選択肢に「○」を記入してください。「その他」を選択した場合には、()内にその内容を記載してください。(複数の選択肢に該当する場合は、複数回答可)

記入例 : 1. 他部局	○
1. 他部局	
2. 他大学・研究機関	
3. 地方自治体・行政機関	
4. 民間企業	
5. NPO・市民団体	
6. 海外の大学・団体等	
7. その他 ()	

【問15】 多様な主体との連携体制をどのように整備していますか。該当する選択肢に「○」を記入してください。(複数の選択肢に該当する場合は、複数回答可)

記入例 : 1. 全学的なマネジメント体制を構築	○
1. 全学的なマネジメント体制を構築	
2. 全学的な意見の集約・調整はできていないが、特定の部局・研究室・教員等が主導して運営	
3. 多様な主体が参画するコンソーシアム等を運営	
4. 必要に応じて連携する学内の他部局や教員、民間企業、地方自治体等と意見交換を行いながら運営	
5. その他 ()	

【問16】 多様な主体と密接に連携協力するにあたり、どのような工夫をしていますか。該当する選択肢に「○」を記入してください。(複数の選択肢に該当する場合は、複数回答可)

記入例 : 1. 地域連携プラットフォームの構築・活用	○
1. 地域連携プラットフォームの構築・活用	
2. 専門家の活用 (アドバイザーやコーディネーターの選任等)	
3. 地方自治体や民間企業等との人事交流	
4. その他 ()	

【問17】 多様な主体と密接に連携協力する上で、現在課題があれば記載してください。また、過去に生じた課題について、効果的に対応できた事例があれば記載してください。(簡潔に自由記述)

【多様な財源を活用した施設整備・維持管理】

本事業におけるキャンパス・施設の整備や維持管理に関する財源についてお聞きます。

【問18】 キャンパス・施設の整備や維持管理に関して、文部科学省、大学改革支援・学位授与機構が交付する事業（施設整備費補助金や施設費交付事業、施設費貸付事業）以外の財源や整備手法を活用していますか。（複数の選択肢に該当する場合は、複数回答可）

●キャンパス・施設の整備について

記入例：1. 地方自治体との連携(公共施設との複合化・共用化、指定管理者制度の活用、寄付、既存施設の借用等)	<input type="radio"/>
1. 地方自治体との連携 (公共施設との複合化・共用化、指定管理者制度の活用、寄付、既存施設の借用等)	<input type="checkbox"/>
2. 民間企業との連携(民間企業による寄付、民間企業による整備、既存施設の借用等)	<input type="checkbox"/>
3. 文部科学省のその他の事業や他府省庁の事業の活用 (競争的研究費や教育研究に関する補助事業等を含む)	<input type="checkbox"/>
4. 自己財源の捻出	<input type="checkbox"/>
5. その他 ()	<input type="checkbox"/>

●キャンパス・施設の維持管理について

記入例：1. 地方自治体との連携(公共施設との複合化・共用化、指定管理者制度の活用、寄付、既存施設の借用等)	<input type="radio"/>
1. 地方自治体との連携 (公共施設との複合化・共用化、指定管理者制度の活用、寄付、既存施設の借用等)	<input type="checkbox"/>
2. 民間企業との連携(民間企業による寄付、民間企業による整備、既存施設の借用等)	<input type="checkbox"/>
3. 文部科学省のその他の事業や他府省等の事業の活用 (競争的研究費や教育研究に関する補助事業等を含む)	<input type="checkbox"/>
4. 自己財源の捻出	<input type="checkbox"/>
5. その他 ()	<input type="checkbox"/>

【問19】 多様な財源を確保する上で、現在課題があれば記載してください。
また、過去に生じた課題について、効果的に対応できた事例があれば記載してください。(簡潔に自由記述)

【問20】 貴学における「イノベーション・コモンズ」の実現に向けて、目指すキャンパスの将来像や、今後取り組む施設整備、体制整備、共創活動の計画等があれば記載してください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。

本調査票は令和4年1月17日(月)までにご返信ください。

「イノベーション・commons（共創拠点）」の推進に向けた先導的な事例調査 現地ヒアリング調査項目

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部
計画課整備計画室

質問紙調査の回答内容を踏まえ、必要に応じ質問紙調査の回答の具体的な内容を確認しながら、主に下記の項目について、ヒアリングを実施。

1. キャンパス・施設の整備について

1) キャンパス・施設整備の背景

- どのような背景、目的で整備されたか。（背景、きっかけ、目的）

2) キャンパス・施設整備の過程

- 構想、調査、計画、整備までに、どのようなプロセス、期間で実施されたか。
（組織体制、整備スケジュール、役割分担、問題の存在、対応方法）
（調査を実施した場合、誰に、どのような内容の調査をし、どんなアウトプットを導き出したか。）
- 計画・整備時に課題等があったか、どのように対応したか、結果はどうなったか。

3) 施設面の特徴や工夫

- 施設整備のポイント（基本コンセプト等）は何か。
- フロアゾーニング、施設配置計画をどのような考えのもとに策定したか。また、検討体制は横断的であったか。
- 整備面でどのような工夫・配慮を行ったか。
（どのような効果を狙ったか、何を優先したか。例：壁をなくした、透過性のある仕切りにした等）
- 各種のスペースはどのようなねらいを持って確保したか。

[施設整備の成果を示す資料を収集（図面、写真等）]

2. キャンパス・施設の維持管理・運用について

1) 現在の組織体制

- 人数、管理体制
- 維持管理・運用経費の内訳

2) 維持管理・運用に係る工夫や課題

- アンケート調査の回答における工夫の内容について確認。
- 安定的かつ効率的なキャンパス・施設の維持管理・運用に向けて、どのような工夫を行っているか。
- 国の補助金等を受けている場合、事業終了後の運営について、どのような課題があるか。(課題がある場合、解消するための具体的な方策、スケジュールはあるか)

[組織体制図等を収集]

3. キャンパス・施設の有効活用

1) キャンパス・施設の活用方法

- アンケート調査の回答内容の詳細について確認。
- 当該キャンパス・施設の活用実績(利用者数、入居企業数、イベント開催回数等)

2) 活用による効果・課題

- 当該方法によって活用することにより、イノベーション・コモンズの実現や共創活動の活性化という観点から、どのような効果があった。(大学、連携先、地域等に対して)
- 当該キャンパス・施設を当該方法で活用することにより、どのような利点があったか。
- 当該キャンパス・施設を当該方法で活用する上で、どのような課題があったか。または現在どのような課題があるか。
(課題への対応策、結果はどのようなものであったか。)

[施設の活用方法や、その効果・課題に関する資料を収集(広報資料等)]

4. 多様な主体との連携について

1) 連携の背景

- 関わるようになった経緯、目的
- 誰が、どの段階で、どのような関わり方をしたか(どのような役割分担をしたか)

2) 連携体制

- 多様な主体が関わる上で、どのような連携体制を整備したか(学内・学外含む)。

3) 連携過程

- 各段階の連携において、互いの利害調整をどのように行い、合意に達したか。
- 多様な主体と関わる上でポイントとなる工夫・取組等があったか。
- 多様な主体と連携する上で、どのような課題があったか。現在どのような課題があるか。(課題に対する対応策、結果はどのようなものであったか)
- 多様な主体がキャンパス・施設の整備/維持管理/運営/活用に関わることにより、どのような効果があったか。

[連携に関する資料を収集（協定・覚書、体制図等）]

5. 多様な財源を活用した施設整備・維持管理について

- アンケート調査の回答内容の詳細を確認。

6. 今後の展望について

- アンケート調査の回答内容の詳細を確認。
- どのような課題認識（目的）のもとで、キャンパスの将来像を描いているのか。
- キャンパスマスタープランの見直しやアカデミックプラン等との連携を検討しているか。
- 財源の確保や、学内の体制整備、関係するステークホルダーとの連携をどのように行っていきたいと考えているか。
- 今後のイノベーション・コモンズの実現に向けた取組を継続していく上で、どのような課題があるか。（特にこれまでの質問の中で言及のなかったものがあれば。）